

## 県立春日部高校 ≪活性化・特色化方針（スクール・ポリシー）≫

課程	全日制	学科	普通科		R8.5.1 生徒数	(男) 1,069	計 1,069		
アクセス	東武アーバンパークライン（野田線）八木崎駅 徒歩 1 分 ※急行、区間急行は停車しません。								
＜目指す学校像＞									
校訓「質実剛健」、教育目標「文武両道」を實踐し、広く社会で活躍できるリーダーを育てる進学校									
＜教育課程等＞ ※ 1									
<p>国公立大学進学希望者が約 8 割（3 年時）という状況を踏まえ、国公立大学進学に対応しつつ、部活動との両立を図るために、様々な工夫を行っています。50 分授業、隔週土曜日授業の実施により週 3 4 単位時間を確保しています。1, 2 年生は国・数・英の学習を充実させ、5 教科をバランスよく学習し、3 年生からは文系・理系の選択科目を設置し、国公立大学入試に十分対応できる教育課程を編成しています。</p> <p>また、文部科学省の SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の基礎枠・認定枠の指定を受けており、探究的な学習を行う科目を設定し、「科学的探究活動の自走・確立」を目指しています。さらに、国際交流事業にも積極的に取り組み、グローバルマインドの育成を通じグローバルリーダーを養成しています。</p>									
＜本校が求める生徒＞ ※ 2									
「勉学と特別活動を両立し、使命感をはぐくみ自己実現を果たす生徒」を求めます。									
＜学校行事＞									
<p>例年 6 月上旬に、文化祭(春高祭)を実施します。音楽ホールでは、吹奏楽部、音楽部、演劇部の公演、体育館では応援指導部による「臍脂の集い」や書道部による「書道パフォーマンス」が人気です。仮設ステージでもさまざまなパフォーマンスが行われます。その他、5 月下旬にはバレーボール大会、7 月には水泳・卓球大会、10 月には大運動会、11 月には一万 m 走大会、修学旅行（2 年）、12 月には体育大会があるほか、オーストラリアのメルボルン高校と兄弟校関係にあり、令和 8 年度は、12 日間生徒 20 名、1 か月間 1 名が派遣されるなど国際交流事業も充実しています。</p>									
＜部活動＞									
<p>令和 7 年度は、運動部活動では、陸上競技部・弓道部・卓球部・柔道部が関東大会に、水泳部・陸上競技部が全国大会に出場しました。また、陸上競技部の 3 年生が天皇盃第 31 回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会に埼玉県代表として出場しました。</p> <p>文化部活動では、書道部が全国総合文化祭大会に出場、全国高校生選抜書展（書の甲子園）にも入選、物理部が全国高等学校アマチュア無線コンテスト、全国高等学校 A R D F 競技大会に参加し、囲碁部は、全国大会に出場し、準優勝を果たしました。</p> <p>その他の部活動も多くの関東及び県内外の競技会や発表会に出場し、成果を上げています。</p>									
＜家庭・地域との連携＞									
<p>「れんらくメール」に登録した生徒・保護者には、カテゴリーに従って学校から必要な情報がメール配信されます。文化祭、一万メートル走大会などでは P T A 関係の保護者にも協力いただいています。P T A 活動も活発で、大学見学会、進路講演会など P T A 主催の進路行事も豊富に企画されます。また、地域の防災拠点として避難訓練会場を提供したり、植栽事業にも協力しています。</p>									
進 路 傾 向	R8.3 卒業生	国公立大	103	私立大	129	専門	0	進学準備	120
	<p>ほぼ、全員が 4 年制大学進学希望です。令和 7 年度卒業生の現役進学率は <b>65.9%</b>。全国を視野に入れた大学選びを推奨し、特に国公立大学については、科研費や大学院への進学率、研究内容等多くの観点を参考に、自分の将来を見据え「高い志」を持ち、安易に志望を下げることなく、最後まで難関大学を目指し、チャレンジするよう指導しています。様々な教科・科目を学習し、幅広い学問に触れ、圧倒的な知を身につけることを重視し、生徒の「高い志」の実現を支えるため、質の高い授業はもちろん、通常の上位者への進学講習・復習型の基礎講習に加え、志望大学に照準を合わせた夏期講習も充実したラインアップをそろえ、3 年次の夏季休業中には校外で 3 泊 4 日のアドバンスセミナーを開催するなど、生徒の学習面のフォローアップを行っています。また、学習室、図書館や HR 棟の各階に自学自習設備を充実させ、塾や予備校に頼らない学習環境を整えています。</p>								

【学校教育法施行規則第 103 条の 2】高等学校における三つの方針

裏面 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

※ 1 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

※ 2 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）



# 埼玉県立春日部高等学校 育成方針

卒業生

日本の各界、世界の各界で活躍するリーダー

## 3年後の目標

- ◆難関国公立大  
50名以上
- ◆国公立大学  
150名以上
- ◆早慶合格  
延100名以上

## 受験団体戦体制

- ◆志望校別  
チーム結成
- ◆志望校別  
問題演習
- ◆数学  
先取り学習

## 志を育む進路行事

- ◆模擬講義  
大学教授による各専門分野の講義を聴く
- ◆進路講演会  
進路実現にむけた心構えについての講演
- ◆進路トーク  
各界で活躍するOBによる体験談を聴く

## 授業で勝負

- ◆50分授業  
授業のコマ数を増やす
- ◆隔週土曜日授業  
公開授業の実施
- ◆教養主義  
早い時期に文・理に偏ることなく5教科をバランス良く学ぶ教育課程  
文・理系のクラス編成は3年生から

3年生

## 春高魂を体現する

- 社会の発展に尽くす使命感をもつ
  - ・社会貢献の方法を考えながら世界の動向を観る
  - ・今、学ぶ意義を理解する
- 第一志望を貫く覚悟をもつ
  - ・これまでに培った粘り強くやり遂げる力を発揮する
  - ・夏季休業中の学習時間500時間を達成する
- 部活動、学校行事をやり遂げる
  - ・リーダーとして行動し、活動目標を達成する

## SSH 基礎枠・認定枠

- ◆目的・目標
  - ・科学的探究活動の自走確立
  - ・科学技術分野のリーダーとなる人材の育成
- ◆各学年・課題研究
- ◆課題研究発表会

## DX加速化推進事業

- ◆デジタル人材の育成

2年生

## 春高魂を実践する

- 自己の将来像、学びたい分野を明確化する
  - ・世界の動向を観て、いかにして自分を役立てるかを考える
  - ・日本、世界のリーダーが未来をどう描こうとしているかに関心を持つ
- 2年生後半から受験勉強を本格的にスタート
  - ・具体的な目標に向けて計画的に勉強する
- 部活動、学校行事に参画する
  - ・課題を明確化し、解決策を考える力をつける
  - ・仲間と協力して、目標を達成する体験を積む

## 国際交流

- ◆兄弟校との相互交流  
Melbourne High School  
グローバルマインドの育成

## 学校行事

- 5月 バレーボール大会
- 6月 春高祭
- 7月 水泳・卓球大会
- 10月 大運動会
- 11月 10,000m走大会  
修学旅行(2年次)

## 部活動

- ◆運動部 17部
- ◆文化部 20部
- ◆全国・関東大会等上位大会  
複数の部が出場
- ◆勉学との両立
  - ・19:00~19:30に終了
  - ・夏季休業中の第1週

## 放課後・長期休業講習

- ◆発展的学習と成績不振者へのケア
- ◆夏季休業中の講習
  - ・3年生は50講座以上
- ◆夏休アドバンスセミナー

1年生

## 春高魂を体得する

- 自己管理能力(バックキャスト)を身につける
  - ・「iPad」・「春高手帳」などを活用し自己管理
- 中学校までの勉強との違いに気づく
  - ・インプットばかりでなくアウトプットすること
  - ・クリティカルシンキング(鵜呑みにしない)
- 学習習慣を定着させる
  - ・平日2時間、休日4時間の家庭学習
  - ・早朝、昼休み、電車内等の隙間時間学習
- 部活動、学校行事に参加する
  - ・協調性、忍耐力、リーダーシップを身につける